



Challenge Zero



サステナブルファイナンスを通じた ネット・ゼロ社会実現への貢献

(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ

2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、カーボンニュートラルを実現するための高い技術や潜在力を持つ日本企業の取り組みに、国内外の成長資金が活用されることが重要である。今回は、三菱UFJフィナンシャル・グループ(以下、MUFG)の、再生可能エネルギー事業をはじめとしたサステナブルファイナンスを通じたネット・ゼロ社会実現への取り組みを紹介する。

持続可能な環境・社会への取り組み

MUFGは、長期的な視点でお客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現することを使命とし、その実現に向けて地球環境の保全や多様な人権の保護などへの取り組みを進めている。

「持続可能な環境・社会がMUFGの持続的成長の大前提である」との考えに基づき、コロナ禍の経験からこれまで以上に社会への貢献が問われている今、ビジネスを通じて優先的に取り組む7つの環境・社会課題を特定し、中でも「地球温暖化・気候変動」といった地球環境の課題に対しグループの総合力を発揮して取り組んでいる。

2019年には、SDGsやパリ協定などの国際社会の目標と整合した事業活動を銀行に促すことを目的に策定された「責任銀行原則(PRB)」に発足と同時に賛同し、国際的なイニシアチブへの参画を通じ「世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ」を目指している。

7つの優先課題		「環境・社会課題」起点の事業戦略(例)
① 少子・高齢化		・資産形成・承継サポート(つみたてNISA等) ・投資教育を通じた金融リテラシー向上
② 産業育成と雇用創出		・ベンチャー取引推進の強化 ・アユタヤ銀行とその子会社によるマイクロファイナンス
③ 社会インフラ整備・まちづくり		・観光立国ファンドによる地方創生 ・インフラ輸出の支援(JII*/三菱UFJリース)
④ 地球温暖化・気候変動		・再生可能エネルギー領域での更なる取組強化 ・気候変動対策コンサルティング業務拡大
⑤ 金融イノベーション		・先進金融サービスの提供 (ブロックチェーン・AI等活用)
⑥ 働き方改革		・多様な働き方を通じた生産性の向上
⑦ 複数領域に跨る環境・社会課題		・インベストメント・チェーン高度化、ESG運用 ・自己勘定でのESG投資

*JII: ジャパン・インフラストラクチャー・イニシアティブ

ファイナンスを通じた取り組みへ

再生可能エネルギー事業への ファイナンスの提供

MUFGは、エネルギー効率の改善などの事業・構造転換を図る“トランジ



ション”や、代替エネルギーやIT技術の活用などによる“イノベーション”の取り組みを支援し、持続的な社会の実現に貢献したいと考えており、こうした考えも踏まえ、2019年に日本の金融機関として初めてサステナブルファイナンスの長期目標を設定している。

環境分野では、再生可能エネルギー事業向け融資、グリーンボンドの引受・販売などに8兆円の実績を目指しており、初年度は2.2兆円の実績を上げている。特に2019年には、再生可能エネルギー事業に関連したファイナンスのリードアレンジャー世界ランキングで2位となるなど、脱化石資源に向けた事業展開に貢献している。

今後も、MUFGは豊富な実績とノウハウ、グローバルな拠点網を生かし、先駆的な取り組みの事業化を含め、ネット・ゼロ社会の実現に向けた取り組みを発展させ、日本と世界の発展を支える社会の確かな礎となるだろう。

(国内広報部主任研究員 塩入真理)